

◇—————◇
公益社団法人 日本航空機操縦士協会
メールマガジン Vol.92/ 2021/11/15
◇—————◇

いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。
今号は以下の内容でお送りいたします。

★—INDEX—★

- [1] 【三役コラム】 VOICES への報告が安全性向上に寄与しました
- [2] 【お知らせ】 FTD（シミュレーター）再開のご案内
- [3] 【締め切り間近！】 JAPA フォトコンテストの開催
- [4] 【航空局】 航空機からの機内持ち込み品の落下防止について
- [5] 【航空局】 安全運航セミナーの開催について
- [6] 【VOICES FEEDBACK】
<①那覇 KIZNA DEP の Initial Turn について><②凍結した Ramp での Slip>
- [7] 【新発売】 JAPA SHOP よりご案内
- [8] 【お知らせ】 セミナー・イベント
- [9] 【お知らせ】 協会事務局の勤務体制について
- [10] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

- ★—————
- [1] 【三役コラム】 VOICES への報告が安全性向上に寄与しました
副会長 中島一郎

★—————

今回は VOICES への報告が北関東空域の安全性向上に寄与した好事例を紹介します。この FEEDBACK は「小型ジェット機とヘッドオン」という題で最新の VOICES FEEDBACK に掲載されました。概要は、茨城県古河市上空を飛行中のグライダーが約 5,500ft まで上昇し、北に向かって飛行していたとき、ジェット機が正面から飛来し、直上を通過したというものです。どちらも回避操作は行いませんでした。またグライダーには ATC トランスポンダー装備はありませんでした。（電源に余裕のないグライダーがトランスポンダーを装備するのは難しいそうです。）

着陸後、相手機は RNAV 航空路 Y588 (MEA 5,000ft) を南南西に向けて飛行していた双発ジェット機だったと分かりました。なお当時、区分航空図(関東・甲信越)に Airway Y588 の記載はありませんでしたので、チャートを取りまとめている団体 (JAPA) にチャートへの Y588 記載を依頼した、というものです。

その後、報告者の組織ではメンバーに対してグライダーの飛行空域の理解と VFR ルールに則った飛行の徹底、他のグライダー組織への事例紹介、関係機関にグライダーの飛行特性を理解してもらう活動の実施、IFR トラフィックの多い平日にはトランスポンダーを装備、レーダーサービスへのコンタクト促進等の対策を取ったとのことでした。

TCA チャートには記載されていた Y588 ですが、関東は航空路や空域が輻輳しており、すべての航空路を記載すると見にくくなる可能性があるため、これまで区分航空図には記載されていませんでした。しかし JAPA ではこの事例を受け、迅速に区分航空図 (関東・甲信越) に Airway Y588 を記載する対応を行いました。さらに JAPA ではこの事例に関して、奥貫運航技術委員が「北関東の航空交通輻輳空域と有視界飛行」という題の啓発記事 (E-journal) をホームページに掲載しました。

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2018/07/JAPA-E-Journal2021-003.pdf>

このように今回はグライダーパイロットの VOICES への迅速な報告により、北関東空域の IFR 機と VFR 機の輻輳の危険性が浮き彫りになり、各組織で迅速に対応が行われた結果、将来起きる可能性がある不安全事故を未然に防ぐことができました。

一人のパイロットが経験できる不安全事故は限られています。

どうか皆様、ご自分の経験を VOICES に報告することにより、一人の経験をより多くのパイロットと共有していきましょう。

★—————

[2] 【お知らせ】 FTD (シミュレーター) 再開のご案内

★—————

新器材導入並びにコロナ禍の影響により中断しておりました FTD の利用を 11 月 15 日より再開致します。

11 月 9 日より受付を開始しておりますので、要領に沿って利用予約をして下さいますようお願い致します。

詳細は HP をご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/ftd>

★—————

[3] 【締め切り間近！】 JAPA フォトコンテストの開催

★—————

《コンテスト概要》

JAPA 初のフォトコンテストを開催中です。
テーマは「私の好きな飛行機」です。飛行機ファンの方、飛行機に興味を持っている方、将来パイロットになりたい方など、どなたでも応募できます。コンテストに入賞されますと、副賞として FTD（フライトシミュレーター）の操縦を体験することができます。また小・中・高校生の部に応募された方の中から抽選で 5 名様にも、FTD の操縦を体験していただける JAPA 特別賞を用意しています。審査員には航空写真家の青木勝氏他をお迎えし、審査結果は 12 月上旬に JAPA ホームページその他で発表する予定です。多くの皆さまからのご応募をお待ちしております。

《応募期間》

2021 年 10 月 1 日（金）～11 月 20 日（土）

《詳細はこちら》

<https://www.japa.or.jp/japa-contest>

★—————

[4] 【航空局】 航空機からの機内持ち込み品の落下防止について

★—————

兵庫県の発表によれば、令和 3 年 10 月 14 日、大阪府大阪市西成区上空を飛行中の回転翼航空機からスマートフォンが落下する事案が発生しました。当該機の運航者によれば、機体キャビン内で使用中のスマートフォンが、換気のため開放していた窓からの風にあおられ機外に落下したと

のことです。

詳細は HP をご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/6469>

★—————

[5] 【航空局】 安全運航セミナーの開催について

★—————

航空局では、小型航空機に係る事故の再発防止・未然防止の観点から、小型航空機の操縦士をはじめとする関係者の皆様を対象とした「安全運航セミナー」を開催しています。本年度においても、案内がございましたので、お知らせいたします。

開催日：

- ・東京 FAIB : 12月09日(木)
- ・新千歳対空センター : 12月07日(火)
- ・大阪対空センター : 12月08日(水)
- ・福岡 FSC : 12月10日(金)
- ・鹿児島 FSC : 12月06日(月)
- ・那覇 FSC : 12月03日(金)

詳細は HP をご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/6526>

★—————

[6] 【VOICES FEEDBACK】

<①那覇 KIZNA DEP の Initial Turn について><②凍結した Ramp での Slip>

★—————

<①那覇 KIZNA DEP の Initial Turn について>

先日、久しぶりに那覇 RWY 36R からの SID を行いました。副操縦士が PF で 1,200ft の Level Off 時の Briefing を行っていたときのことです。

「500ft での Turn と MCP の操作が重なるので、旋回が遅れたらアドバイス

してください」との打ち合わせをしました。その打ち合わせ時にふと SID の Chart を見ると、36R からの SID は H6R00 が Fly-over Waypoint であることに初めて気付きました（よく見ないと気付きにくいかもしれません）。

LNAV に Follow すれば 500ft で Turn を開始することはないと思いますが、36L が左側にあるので、Fly-over Waypoint 前の Turn は危険であり、改めて事前の Chart の確認と Briefing の重要性を痛感しました。

★VOICES コメント

RWY36R からの離陸において、RWY36L への進入機による Go Around が行われる可能性も考えると、この Fly-Over Waypoint は重要ですね。

<②凍結した Ramp での Slip>

飛行機における右席訓練において、空港に帰投時、折からの降雪により除雪が行われた後であった。積雪により Ramp 誘導線が視認できない状態で、Rampln には整備士の誘導が必要な状況であった。そのような状況下、右席の PF は誘導員の指示に従って走行し、誘導員の「停止」の合図を受けて Brake を操作したが機体が Slip して停止しなかったため、後席の同乗操縦士から「Mixture Cut Off」との Assertion もあり、PM の左席機長が瞬間的にオーバーライドして Mixture Lever を Cut しながら Brake をかけ続け停止した。

★VOICES コメント

後席からの Assertion と、とっさのオーバーライドにより危険な状況を克服できましたね。Slippery な状況は他機にも提供しましょう。

★—————

[7] 【新発売】 JAPA SHOP よりご案内

★—————

【新発売】

- ・ヘリコプター操縦教本 Vol.5
- ・JAPA-503（関東・甲信越）第7版

ご注文については以下 JAPA SHOP をご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/japa-shop>

★—————
[8] 【お知らせ】 セミナー・イベント
★—————

《航空気象シンポジウム》
2021年11月20日（土）＜オンライン開催＞
<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=7>

《航空安全講習会》
2021年11月27日（土）＜沖縄＞
<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=3>

《TEM/CRM セミナー》
2021年12月2日（木）～3日（金）＜東京＞
<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=1>

《Fly with us～空の仕事ワークショップ～》
2021年12月11日（土）＜愛知＞
<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=4>

このイベントは航空に係る仕事に興味を持っていただくことを目的に航空各社や、航空局の協力を得て、航空機操縦士、客室乗務員、旅客担当者、航空管制官の「空の仕事ワークショップ」を行います。
皆様にイベント内容を、より分かりやすくお伝えするため、2021年4月より「Yes I Can 航空教室」から、「Fly with us～空の仕事ワークショップ～」へイベント名称を変更しました。

《RNAV 講演会》

2021年12月12日（日）＜東京＞

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=2>

《セミナー・講習会受講に際しての注意事項》

JAPAが主催するセミナー・講習会等のイベント開催につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を予防するためご参加のみなさまへの注意事項や連絡事項を取り決めいたしました。

セミナー・講習会へのご参加にあたりましては、以下内容をご確認いただきますようお願いいたします。

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2020/06/japa20200618.pdf>

尚、その他のセミナー・イベント情報に関しましては随時ホームページ及びメールマガジン等でご案内致しますので、少々お待ちくださいますようお願い申し上げます。

★-----

[9]【お知らせ】協会事務局の勤務体制について

★-----

協会事務局では首都圏での新型コロナウイルスへの感染リスクを考慮し、今後の勤務体制を以下の通りといたします。

期 間：11月15日（月）～（終了に関しては別途お知らせいたします。）

出勤日：月曜日-金曜日（祝日を除く）

時 間：10：00-16：00

★-----

[10]【ご案内】公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

★-----

JAPA では会員を募集しております。

ご入会いただけますと、AIM JAPAN の配布の他、団体割引を適用した、JAPA 団体保険（ロスオブライセンス）へのご加入も可能ですので、ぜひご検討ください。

詳細は以下ホームページより、ご覧ください。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。

<https://www.japa.or.jp/member.japa.or.jp/member>

* * * * *

★次回の配信は 12 月中旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

【発行】公益社団法人 日本航空機操縦士協会

電話 03-6809-2902

メール japa@japa.or.jp

ホームページ <https://www.japa.or.jp/>
